

エネルギー総合監視システム

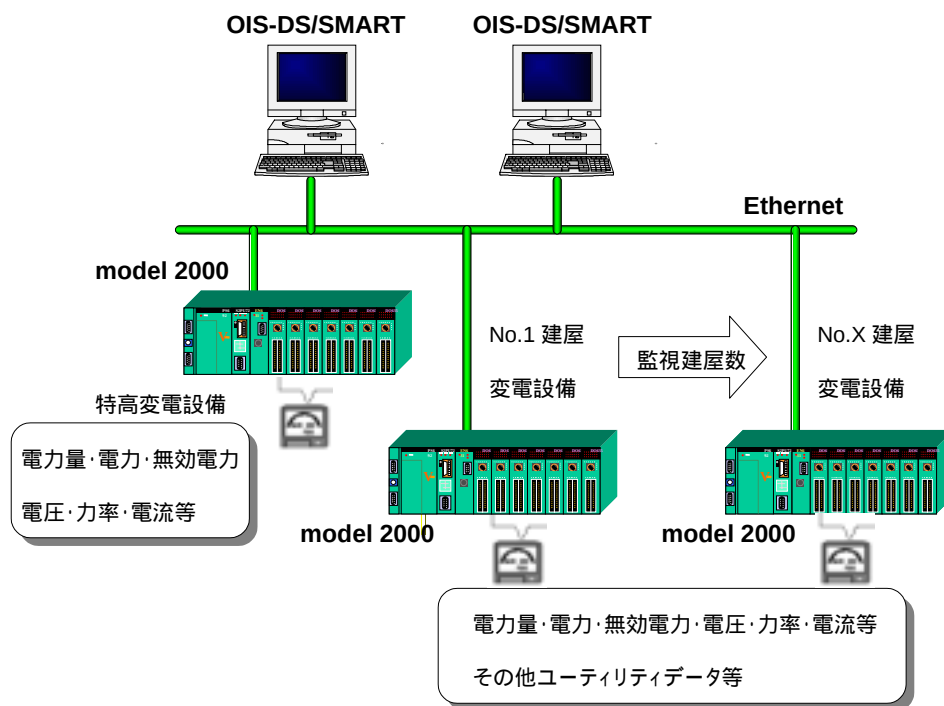
◆ システム概要

エネルギーの監視システムにおいては、近年、通信機能付きトランスデューサやマルチメータを汎用パソコンに接続してシステムを構成するケースが増えてきています。しかしこの場合、システムの信頼性が問題となる場合があります。

又、省エネに係る法律により、工場・事業場におけるエネルギー使用状況の定期報告が必要となりました。

下記のシステムでは、統合コントローラとOIS-DS/SMARTを適用し、コントローラでマルチメータとの通信、データ収集を行い、OIS-DS/SMARTにて収集データのグラフ表示・保存、日報・月報等の帳票作成を行います。

◆ システム構成



◆ システムの特長

- (1) HMI、コントローラ、フィールドレベルの3階層構造から成り、柔軟なシステム構築と将来の拡張性が確保できます。
- (2) 統合コントローラで、すべての制御 (S / L / C) を実現でき、大型から小型機種までのいかなる規模のシステムも自在に組合せできます。
- (3) 汎用SCADAソフトにないDCS監視機能のサポートを行い、豊富なタグ計器表示、データグラフ表示、アラーム履歴、帳票印字等ができます。
- (4) コントローラ、インテリジェントシリアルI / O機器、LANなどが冗長化 (二重化) でき、高信頼性を有するシステムを実現すると共に、制御の連続性が確保できます。